

説明：遠隔授業が午前のみだった際に、児童・生徒がさらに健康的で充実した学習が家庭で行えるように、文部科学省からの家庭学習に役立つ情報を保護者に伝えた。

令和2年4月19日

保護者の皆様

サンホセ日本人学校
校長 川上 隆

遠隔授業の様子と休校中の過ごし方についてのお知らせ

保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

遠隔授業への、ご協力・ご理解、誠にありがとうございます。

お子様の様子はいかがでしょうか。少しでも意欲的に学習に取り組み、健康的な生活が送れるよう、今後職員一同、支援をして参りますのでよろしくお願い致します。

お子様一人ひとりの体調や健康状況に合わせてではありますが、家庭学習の参考にいただければと思います。

子どもたちに、無理のない範囲でと思い、授業を計画しています。子どもたちの発達段階に応じた、ご家庭での支援体制に配慮し、今後も方法を模索しながら、進めて参ります。

【遠隔授業の成果と課題】

- ・子どもたちのやる気を感じます。
- ・ネット環境の課題がありました。

教員は、学習内容によって、自宅から、または学校から授業を行っています。また、学校のネット環境については、最高レベルのものを使用しています。今後も、様々なことが起きることを想定して計画をするようにしていきます。

- ・毎日、教員同士で、授業記録、実態を共有し、今後の方針を検討しています。
- ・期限未定の休校ですので、学校としましても、休校保護者の皆様の意見、ご感想、ご要望等がありましたら、ぜひご連絡をいただきたいと思います（電話でもメールでも構いません）。

【このような学習の仕方もあります】

- ・2ページ以降の、学習方法、各教科の家庭学習の工夫例もご覧ください。遠隔授業の時間外での取り組みの参考にしてください。

【問い合わせ先】 サンホセ日本人学校 ☒ escuelaj.profesor@gmail.com

TEL 2235-9528

担当 田原 慶人

学習支援の参考

- ・「臨時休業期間における学習支援コンテンツポータルサイト」（文部科学省のウェブページ）
https://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/gakusyushien/index_00001.htm
- ・「学びを止めない未来の教室」（経済産業省のウェブページ）
https://www.learning-innovation.go.jp/covid_19/
- ・「NHK for school」
<https://www.nhk.or.jp/school/>

臨時休業期間における各教科等の家庭学習の工夫及び教材例

（小学校）

【国語】

- 教科書に掲載されている教材を基本とし、例えば、教科書にある作品などを再読して感想を書いたり、教科書などにある語句の意味を調べたり漢字を練習したり、日常生活の中で関心のある事柄について意見文を書いたりする。
- このほか、例えば本や新聞、雑誌の活用も考えられる。

【社会】

- 授業で学習した内容を教科書等で振り返り、さらに調べてみたいことなどについて教科書等で調べたり、ノートに書き加えたりする。また、教科書の今後学習する部分を読み、疑問に思ったことをノートにメモしたり、教科書等で調べたりする。

【算数】

- 児童の学習状況に応じて、教科書の復習問題や補充的な問題に取り組み、これまでの学習内容の習熟を図ったり、教科書の発展的な問題に取り組み、これまでの学習内容について理解を一層深めたりする。

【理科】

- 学習した内容や自分の学び方を教科書やノート等で振り返り、気付いたことや今後調べてみたいことをノート等にまとめるなどして、学習内容についての理解を深めたり、新たな問題を見いだしたりする。

【生活】

- 生活科の授業で学んだことを生かして、家の中にある身近な物を使って遊びをつくり出すなど、生活科の内容に即した学習を家庭で行ってみる。

【音楽】

- 教科書に掲載されている教材曲について、どのように歌ったり演奏したりするかを考え、家庭でできる範囲において実際に歌ったり、楽器で演奏したりする。

○授業で鑑賞した音楽について、その音楽のよさを見いだし、自分なりに感じたことや理解したことをノートにまとめてみる。その音楽を聴くことができる環境がある場合は、鑑賞したりする。

【図画工作】

○表現については、これまでに学習した題材や教科書に載っている題材を家庭でできる範囲において表現してみる。また、家庭にある材料を使って表現してみる。

○鑑賞については、これまでにつくった自分の作品や教科書に載っている作品などを鑑賞し、造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げてみる。

【家庭】

○授業で学習したこと（調理、生活に役立つ物の製作、掃除、整理・整頓、洗濯など）をもとに生活をよりよくする家庭実践を考え実践したり、レポートとしてまとめたりする。

【体育】

○体育については、授業で学習した内容で、家庭でも安全に行うことができる運動を行ってみる。（例：体を伸ばしたりほぐしたりする手軽な運動、リズムに乗って体を動かす運動、縄跳びなど用具を用いた運動、腕立て伏臥腕屈伸など、力強い動きを高める運動 など）多様な動きをつくる運動（遊び）パンフレット（文部科学省）

https://www.mext.go.jp/a_menu/sports/jyujitsu/__icsFiles/afieldfile/2009/12/28/1247477_3.pdf

https://www.mext.go.jp/a_menu/sports/jyujitsu/__icsFiles/afieldfile/2009/12/28/1247477_4.pdf

○保健については、教科書等を使って、授業で学習した内容を振り返ってみる。

わたしの健康（小学校5年生用）（文部科学省）

https://www.mext.go.jp/a_menu/kenko/hoken/08060506.htm

【特別の教科 道徳】

○教科書や補助教材「私たちの道徳」を読んで、気付いたことや考えたことなどを記入したり、ノート等にまとめたりする。

私たちの道徳（文部科学省）

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/doutoku/index.htm

【外国語活動】

○We Can!テキストを参考に、ワークシートに文字を書いたり、語句を書き写したり、例文を参考に自分の考えや気持ちを書いたりする。新学習指導要領に対応した小学校外国語教育新教材について（文部科学省）（サンプルとの表示あり。誰でも利用可能。）

https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/123/houkoku/1382162.htm

○えいごネット（英語教材等を掲載するポータルサイト）から、小・中・高等学校段階の、聞

く・読む・話す・書くの各教材をダウンロードして活用を図る。えいごネット（（一財）英語教育協議会）

<http://www.eigo-net.jp/>

【総合的な学習の時間】

○学校で取り組んでいる課題を踏まえながら探究的な学習に取り組んだり、レポート等にまとめたりする。

【特別活動】

○毎日の生活や学習の目標や計画を立てて取り組み、規則正しい生活ができるようにする。

○家庭での役割について考え、自分が取り組むことを決めて実践する。

臨時休業期間における各教科等の家庭学習の工夫及び教材例

（中学校）

【国語】

○教科書に掲載されている教材を基本とし、例えば、教科書にある作品などを再読して感想を書いたり、教科書などにある語句の意味を調べたり漢字を練習したり、日常生活の中で関心のある事柄について意見文を書いたりする。

○このほか、例えば本や新聞、雑誌を教材として活用も考えられる。

【社会】

○授業で学習した内容を教科書等で振り返り、さらに調べてみたいことなどについて教科書等で調べたり、ノートに書き加えたりする。また、教科書の今後学習する部分を読み、疑問に思ったことをノートにメモしたり、教科書等で調べたりする。

○このほか、各学校で採用している補助教材の活用も考えられる。

【数学】

○生徒の学習状況に応じて、教科書の復習問題や補充的な問題に取り組み、これまでの学習内容の習熟を図ったり、教科書の発展的な問題に取り組み、これまでの学習内容について理解を一層深めたりする。

【理科】

○学習した内容や自分の学び方を教科書やノート等で振り返り、気付いたことや今後調べてみたいことをノート等にまとめるなどして、学習内容についての理解を深めたり、新たな問題を見いだしたりする。

【音楽】

○授業で使用するために個人で購入した楽器がすでに家に持ち帰られており、音を出すことが可能な環境である場合は、任意の曲を選択し、授業での学びを生かして、自分なりに表現を工夫して演奏したり、演奏に対する感想をノートに書いたりする。

○授業で鑑賞した音楽について、その音楽のよさや美しさなど、自分なりに感じたことや理解したことをノートにまとめたりする。その音楽を聴くことができる環境がある場合は、鑑賞したりする。また、自分のお気に入りの音楽について、その音楽のよさや美しさなどに触れながら、その音楽の推薦文を書いてみる。

【美術】

○教科書に載っている題材を家庭でできる範囲において表現してみたり、身近な人物や動植物、ものなどをじかに見つめて、様々な視点から対象を捉えてスケッチを描いたりする。

○教科書に載っている作品などを鑑賞し、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えたりしたことをまとめてみる。また、家庭内にある自然物やデザインなどの造形的な美しさなどを感じ取ったり、身の回りにある美術の働きについて考えたりしたことをまとめてみる。

【保健体育】

○体育については、授業で学習した内容で、家庭でも安全に行うことができる運動を行ってみる（例：体を伸ばしたりほぐしたりする手軽な運動、リズムに乗って体を動かす運動、縄跳びなど用具を用いた運動、腕立て伏臥腕屈伸など力強い動きを高める運動 など）。また、オリンピック・パラリンピックを含め、スポーツの意義等について、教科書等を参考に考えたり、レポートにまとめたりする。

「体づくり運動」リーフレット（文部科学省）

https://www.mext.go.jp/a_menu/sports/jyujitsu/_icsFiles/afieldfile/2011/08/22/1306082_03.pdf

https://www.mext.go.jp/a_menu/sports/jyujitsu/_icsFiles/afieldfile/2011/08/22/1306082_04.pdf

○保健については、教科書等を使って、授業で学習した内容を振り返ってみる。かけがえのない自分、かけがえのない健康（中学生用）（文部科学省）

https://www.mext.go.jp/a_menu/kenko/hoken/08111804.htm

【技術・家庭】

（技術分野）

○教科書を使って学習を振り返り、今後どのような技術を開発したらよいか考えたりノート等にまとめたりする。

○来年度の学習内容について具体的なものをとりあげ、それがなぜ社会で広く活用されているのかについて自分なりに考えたりノート等にまとめたりする。

○家庭で活用されている、食器、家具、電気製品などを一つ選び、そこにどのような工夫がされているかについて教科書等を参考に考えたり、ノート等にまとめたりする。

（家庭分野）

○「生活の課題と実践」として、食生活、衣生活、住生活、消費生活・環境等の中から自分でテーマを決め、計画、実践、評価、改善する家庭実践を行ったり、ノート等にまとめたりする。

【外国語】

○教科書や中学校外国語教材「Bridge」（文部科学省作成）を活用して、英語の文章を読んだり、その内容理解のための問を解いたりする。

中学校外国語教材「Bridge」（文部科学省）

https://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/gaikokugo/1414459_00002.htm

○えいごネット（英語教材等を掲載するポータルサイト）から、小・中・高等学校段階の、聞く・読む・話す・書くの各教材をダウンロードして活用を図る。

えいごネット（（一財）英語教育協議会）

<http://www.eigo-net.jp/>

【特別の教科 道徳】

○教科書や補助教材「私たちの道徳」を読んで、気付いたことや考えたことなどを記入したり、ノート等にまとめたりする。

私たちの道徳（文部科学省）

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/doutoku/index.htm

【総合的な学習の時間】

○学校で取り組んでいる課題を踏まえながら探究的な学習に取り組んだり、レポート等にまとめたりする。

【特別活動】

○自ら生活や学習の目標や計画を立て、節度ある生活を送り、自己管理を行うようにする。

○家庭での役割について考え、自ら取り組むことを決めて実践する。